



# 第48回 愛媛形成外科研修会

## 抄録集

日 時 令和4年6月4日(土) 17時00分～  
場 所 松山赤十字病院 北棟4階 多目的ホール  
愛媛県松山市文京町1  
TEL : 089-924-1111(代)

当番世話人

松山赤十字病院 形成外科 庄野 佳孝

## 第48回 愛媛形成外科研修会

### 研修会について

1. 参加受付は、16時30分より会場で行います。
2. 参加費として2,000円を受付にて申し受けます。  
今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。  
「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として1,000円を申し受けます。
3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり5分と3分、質疑応答は3分を予定しています。
5. PCはWindows10、PowerPoint2016を使用しての発表になります。  
(当日は、USBメモリーあるいはPC本体をお持ちください。)
6. 当日、駐車場ご利用の方は無料ライターを準備しております。  
駐車券を受付までお持ちください。

### COVID-19対策について

1. 来場前には、各々必ず検温を行い、会場へお越しください。
2. 常時マスクを着用してください。
3. 座長席、演台前に消毒液を設置いたしております。  
マイク、マウス、レーザーポインター等ご利用の前後には、手指消毒をしてください。  
マイクは、その都度消毒いたします。
4. 3密回避のため、会場では十分に間隔をあけてお座りください。

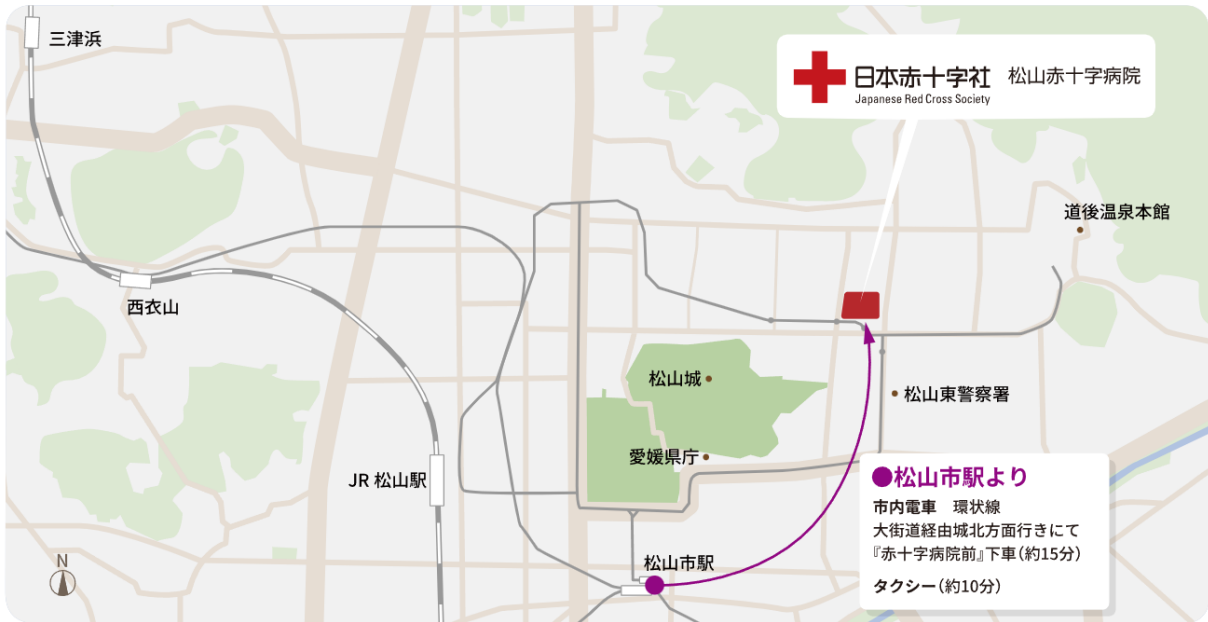
## 会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名
第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	25名
第29回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 末広	平成24年6月23日	34名
第30回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成24年12月1日	26名
第31回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成25年6月22日	36名
第32回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2階 楓の間	平成25年11月30日	30名
第33回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成26年6月21日	32名
第34回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カフアリス会議室	平成26年11月29日	32名
第35回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成27年6月27日	36名
第36回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成27年11月21日	27名
第37回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2階多目的ホール	平成28年6月11日	32名
第38回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成28年12月10日	30名
第39回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3階中会議室①②	平成29年6月24日	36名
第40回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館3階研修室	平成29年12月9日	32名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	37 名
第 45 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和 2 年 12 月 12 日	28 名
第 46 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和 3 年 6 月 12 日	35 名
第 47 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階 多目的ホール	令和 3 年 12 月 4 日	23 名

## 松山赤十字病院へのアクセス



- 市内電車：環状線 大街道経由城北方面行きにて『赤十字病院前』下車（約15分）
- タクシー：（約10分）



松山市文京町 | TEL: 089-924-1111 (代)

お車で来られた方に無料駐車券を配布します

## プログラム

### Section I (17:00~17:40)

座長:松山赤十字病院 阿古目 健志 先生

1. MRSA 陽性の右下腿難治性潰瘍に対してプロントザンを使用した1例 (5分)  
四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科 中山 盛皓 他
2. 保存的に加療された壊死性筋膜炎を外科的に観察できた1例 (5分)  
済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介
3. 指凍傷の治療経験 (3分)  
松山市民病院 形成外科 手塚 敬 他
4. 毛巣洞に対して天蓋除去を行った2例 (5分)  
住友別子病院 形成外科 安藤 穂南 他
5. 膝部褥瘡に対し大腿内側穿通枝皮弁により再建を行った2症例 (5分)  
愛媛県立中央病院 形成外科 土居 未歩

### Section II (17:40~18:20)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

6. 非結核性抗酸菌症による足関節変形を疑う下肢難治性皮膚潰瘍の1例 (5分)  
松山赤十字病院 形成外科 阿古目 健志 他
7. 当院での悪性黒色腫治療における現状 (5分)  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 浅野 遥奈 他
8. 当科での3D実体モデルの活用 その1 家庭用プリンター (5分)  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤 麻美 他
9. 当科での3D実体モデルの活用 その2 TRUMATCH® (5分)  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他
10. ICTを活用した遠隔コンサルテーションの実際と課題 ~褥瘡保有患者に対する訪問看護師との連携~ (3分)  
HITO病院 形成外科 米田 武史

休憩 (10分)

総会 (18:30~18:45)

### 特別講演 (18:45~19:45)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

「食道再建の know・how」

講師:笠岡第一病院 形成外科 河村 進 先生

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

座長:松山赤十字病院 阿古目 健志 先生

1. MRSA 陽性の右下腿難治性潰瘍に対してプロントザンを使用した 1 例

四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科

○中山 盛皓、河村 進、山下 昌宏

(5 分)

プロントザンは難治性潰瘍にみられるバイオフィルムに対して効果があり、MRSA に対しても有効と言われている。MRSA 陽性の右下腿難治性潰瘍に対してプロントザンを使用した 1 例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

2. 保存的に加療された壊死性筋膜炎を外科的に観察できた 1 例

済生会松山病院 形成外科

○三宅 啓介

(5 分)

症例は 51 歳男性。既往に関節リウマチがある。右下肢の蜂窩織炎および偽痛風と診断され、内科で抗生剤を投与された。全身状態は安定したが同部位の皮下膿瘍がみつき、当科紹介となった。経過からは壊死性筋膜炎と考えられた。創部を開放し、後日植皮した。形成外科医にとっては保存的治療後の壊死性筋膜炎を観察できる機会はまれと考えられたので報告したい。



### 3. 指凍傷の治療経験

松山市民病院 形成外科

○手塚 敬、木村 千寿、上村 由美子

(3 分)

56 歳男性。ヒマラヤにて、両手中指から小指の PIP 関節付近までの凍傷を受傷し、壊死となった。Autoamputation がおこらなかったため、境界部で離断した。上皮化した但疼痛が続き、骨露出を繰り返すため、PAT 移植を行った。

### 4. 毛巣洞に対して天蓋除去を行った2例

住友別子病院 形成外科

○安藤 穂南、岡本 かよ、安井 史明

(5 分)

毛巣洞の手術加療については様々な報告がある。瘻孔については摘出が原則であるが、摘出後に単純縫縮した場合は離開・再発等合併症が多いとされ、局所皮弁による再発率低下が報告されている。ただ、単純縫縮・局所皮弁いずれにしても術後安静の必要があるのに対して、毛巣洞患者では若年者が多く、仕事のため長期入院が困難な場合が多い。今回2例の毛巣洞に対して天蓋除去 (deroofing) を行い、短期入院・自宅処置指導にて良好な結果を得たので報告する。

5. 膝部褥瘡に対し大腿内側穿通枝皮弁により再建を行った 2 症例

愛媛県立中央病院 形成外科

○土居 未歩

(5 分)

膝蓋部は皮下軟部組織が薄く、直下に膝蓋骨があるためまれに褥瘡を生じることがある。大腿内側穿通枝皮弁は主要な筋肉・血管を温存でき、カラーマッチ・テクスチャーも良好である。今回、膝蓋部褥瘡に対して大腿内側穿通枝皮弁を用いて再建を行った症例を経験したため若干の文献的考察を加え報告する。

## Section II (17:40~18:20)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

## 6. 非結核性抗酸菌症による足関節変形を疑う下肢難治性皮膚潰瘍の1例

松山赤十字病院 形成外科

○阿古目 健志、庄野 佳孝

(5分)

71歳女性。15年前より原因不明の足関節変形が生じた。13年前より左下腿に潰瘍形成し10年前に当科初診。植皮術を行い治癒していたが、4年前に同部位に再度潰瘍形成し植皮した。植皮は生着し外来でフォローしていたが2年前より同部位に潰瘍形成した。培養検査を行ったところ、8回目の培養で *M.chelonae* の発育を認めた。非結核性抗酸菌症による関節炎は稀で診断が困難な例が多い。本症例について、若干の文献考察を含めて報告する。

## 7. 当院での悪性黒色腫治療における現状

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○浅野 遥奈、松本 麻由、船木 杏奈、川野 貴大、泉本 真美子、眞田 紗代子、戸澤 麻美、森 秀樹、

中岡啓喜

(5分)

若年女性の進行期悪性黒色腫について薬物療法を併用して比較的良好な経過を得たため、症例を供覧し、当院での悪性黒色腫治療における現状について報告する。症例は25歳女性。外陰部悪性黒色腫 T3aN3bM1 StageIVと診断した。原発巣の切除と右鼠経リンパ節郭清を施行後、BRAF・MEK 阻害薬を内服した。PDの診断で免疫チェックポイント阻害薬に変更し、現在までSDを維持している。

8. 当科での3D実体モデルの活用 その1 家庭用プリンター

<sup>1)</sup>愛媛大学医学部附属病院 形成外科、<sup>2)</sup>愛媛大学医学部附属病院 放射線科

○戸澤 麻美<sup>1)</sup>、城戸 輝仁<sup>2)</sup>、西山 光<sup>2)</sup>、船木 杏奈<sup>1)</sup>、浅野 遥奈<sup>1)</sup>、川野 貴大<sup>1)</sup>、

泉本 真美子<sup>1)</sup>、眞田 紗代子<sup>1)</sup>、松本 麻由<sup>1)</sup>、森 秀樹<sup>1)</sup>、中岡 啓喜<sup>1)</sup>

(5分)

当科では2020年9月から放射線科の協力のもと、家庭用3Dプリンターを用いて術前に3D実体モデルを作成している。眼窩底骨折や上顎癌で眼窩下壁切除が行われる場合の健側反転モデル、下顎再建時の腭骨モデルや下顎モデルなどを作成した。術前のプレートベンディングに利用でき、外注するより時間とコストの面から有用であるため報告する。

9. 当科での3D実体モデルの活用 その2 TRUMATCH®

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、戸澤 麻美、船木 杏奈、浅野 遥奈、川野 貴大、眞田 紗代子、松本 麻由、森 秀樹、

中岡 啓喜

(5分)

遊離腭骨皮弁による下顎再建においては、骨の細工やプレート固定に長時間を要し、良好な下顎形態を得るには難渋していた。当科では一昨年度より術前に3Dプリンターによるシミュレーションを行っていたが、今回TRUMATCH®を用いることで著明に手術時間の短縮・良好な下顎形態を得たので報告する。

## 10. ICT を活用した遠隔コンサルテーションの実際と課題

～褥瘡保有患者に対する訪問看護師との連携～

HITO 病院 形成外科

○米田 武史

(3 分)

当院では、日々の診療にさまざまな情報通信技術 (Information and Communication Technology、以下 ICT) を活用している。iPhone を使った、電子カルテへの音声入力やカルテ入力閲覧、グループチャットなどはその一例である。今回、LiveU という TV 局の中継等で使われる、4K 動画中継装置を活用し、医師、WOCN、訪問看護師で褥瘡ケアの様子や生活状況を確認し、評価、指導を行った。

休憩 (18:20~18:30)

総会 (18:30~18:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他

特別講演(18:45~19:45)

座長:松山赤十字病院 庄野 佳孝 先生

「食道再建の know・how」

講師:笠岡第一病院 形成外科

河村 進 先生

1994年に四国がんセンターに赴任して28年間がん切除後の再建術を多岐にわたり行ってきた。その中でも食道再建術は赴任当初から施術する機会が比較的多く、多数経験することができた。食道再建の歴史と当院での代表症例を供覧し、私なりのノウハウを報告する。

略 歴

【現職】

令和 4 年 笠岡第一病院 形成外科部長

【職歴】

昭和 56 年 川崎医科大学 卒業

昭和 62 年 川崎医科大学附属病院 形成外科講師

平成 2 年 川崎病院(岡山市)形成外科 医長

平成 6 年 国立病院機構四国がんセンター 形成外科医長

平成 21 年 国立病院機構四国がんセンター 外来部長

平成 29 年 国立病院機構四国がんセンター 特命副院長

【資格】

日本形成外科学会専門医

皮膚腫瘍外科指導専門医

再建・マイクロサージャリー分野指導医

リンパ浮腫療法士など

【趣味】

DIY(漆喰壁やタイル貼りなどの左官工事、水道工事、簡単な家具の作成)

登山(昨年はじめてばかりですが、石鎚山など数山に登頂)